

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 759 事業名 橋梁長寿命化対策事業

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	2	道路・橋梁・トンネルの適正管理

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H23	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	道路政策課	白井 光典	435-1328
関連課	道路管理課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		道路橋梁費	
	目		地方道整備事業費	
	大事業		地方道整備事業	
事項		橋梁長寿命化対策事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	橋梁、上下水道、BCP策定			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か） 橋梁長寿命化計画により既存橋梁の修繕等を行い、長寿命化を図る。	事業内容 橋梁の長寿命化を図るため、各橋梁の修繕箇所の調査を行った後に補修工事を施工する。				
	実施内容	平成25年度 橋梁補修委託業務 6橋 橋梁補修工事 2橋	平成26年度 橋梁補修委託業務 5橋 橋梁補修工事 5橋	平成27年度 橋梁補修委託業務 5橋 橋梁補修工事 5橋	平成28年度 橋梁補修委託業務 5橋 橋梁補修工事 5橋	平成29年度 橋梁補修委託業務 5橋 橋梁補修工事 5橋

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	86,331	66,533	151,595		151,595		151,595		151,595	
伸び率 (%)	-	-	75.6%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	3,748	3,748		3,748		3,748		3,748	
	非常勤職員	0		0		0		0		0
	小計	89,978	70,281							
国庫支出金	47,482	36,254	82,500		82,500		82,500		82,500	
県支出金										
市債	34,900	29,200	62,100		62,100		62,100		62,100	
その他										
一般財源(税等)	3,949	1,079	6,995		6,995		6,995		6,995	
所要人数	常勤職員	0.49	0.49	0.49		0.49		0.49	0.49	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00		0.00		0	0	
主な予算内訳	橋梁修繕工事135,000千円 測量設計委託15,000千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	箇所	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度		
15m以上の橋梁調査箇所数					5	10	15	20	25
					3				
進捗状況			25	12.0%	60.0%				
					5	10	15	20	25
橋			25	12.0%	3				
					3				
橋			25	12.0%	60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				
					5				
橋					3				
					3				
橋					60.0%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>平成25年9月の道路法、道路法施行令の改正に伴い、施行規則において「橋梁やトンネルなどの道路施設の点検は5年に一度を基本とするなどの点検の基準」、「維持・修繕に係る技術的基準」等が、平成26年7月に施行されることとなっています。</p> <p>このような状況のなか、本市においても、現在事業中の81橋に加え、平成25年度中に点検を終える893橋も対策を講じていく必要があります。</p> <p>今後、事業を拡大し、橋梁の安全性を向上させるとともに、予防的保全により延命化を図ることで、将来の維持管理コストの縮減に努める必要があると考えています。</p>
「見直し」 「改善」案	